

大規模地震に関する緊急時の対応について

美濃加茂市教育委員会
美濃加茂市立古井小学校

1. 緊急地震速報の発表について

現在、気象庁では、最大震度5弱以上を予想した時に、震度4以上を予想した地域に対して緊急地震速報（警報）を発表しています。緊急地震速報は、テレビ・ラジオ・スマートフォン・防災行政無線等で伝えられます。緊急地震速報が発表された際には、「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所に避難し、身を守る態勢をとるようにしてください。

2. 東海地震及び南海トラフ地震について

東海地震は、南海トラフ沿いで想定されている大規模地震（以下「南海トラフ地震」）のひとつで、駿河湾から静岡県の内陸部を想定震源域とするマグニチュード8クラスの地震です。1854年の安政東海地震の発生から現在まで160年以上にわたり大規模地震が発生しておらず、「東海地震はいつ発生してもおかしくない」と考えられています。なお、南海トラフ地震は、おおむね100年～150年間隔で繰り返し発生しており、前回の南海トラフ地震の発生から70年以上が経過した現在では、東海地震に限らず、南海トラフ全域で大規模地震発生切迫性が高まっています。

気象庁では、平成29年11月1日から「南海トラフ地震に関連する情報」の運用を開始しており、これに伴い東海地震のみに着目した「東海地震に関連する情報」の発表は行われていません。「南海トラフ地震に関連する情報」は「南海トラフ地震臨時情報」と「南海トラフ地震関連解説情報」があり、「南海トラフ地震臨時情報」が発表される際には、調査中・巨大地震警戒・巨大地震注意・調査終了のキーワードが付記されます。

3. 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒 or 巨大地震注意）発表時の学校の対応について

※地震の規模や被害の状況によって対応が異なることがありますが、基本的な対応を下表に示します。

		南海トラフ臨時情報（巨大地震警戒 or 巨大地震注意）	学校からの帰宅方法
1	登下校中	学校または自宅の近い方へ避難する。ただし、近くでも危険箇所がある場合は、その限りではない。	学校へ来た場合は、保護者の迎えて下校（引渡し）
2	学校在校時	授業等の活動を直ちに打ち切り、校内の安全な場所に避難する。	保護者の迎えて下校（引渡し）
3	校外活動時	学校に戻り、保護者の迎えを待つ。	保護者の迎えて下校（引渡し）

引渡しの配慮事項

- ①学校の教職員が引渡しを行います。（基本は担任が引渡しを行います）
- ②引き渡す相手は、保護者または家族の方とします。来校できない場合は、依頼された方が確認できた時のみ引渡しを行います。
- ③児童生徒の迎えは、徒歩でお願いします。学校は避難場所となりますので、敷地内へ車を乗り入れることができない可能性があります。
- ④引渡しが済んでいない児童生徒は、学校の運動場または建物内で待機をします。遅くなってもかまわないので、必ず迎えに来てください。

4. 学校の再開について

南海トラフ地震（東海地震を含む）が発生した際には、学校が臨時休業となることが予想されます。被害の大きさにより期間は異なりますが、安全が確認され学校生活再開が可能となった段階で、F-Oメールや学校ホームページ等を通じて、登校日や登校時間を連絡します。

5. その他

「南海トラフ地震臨時情報」や緊急地震速報が発表されると、社会全体がパニック状態となり、電話はつながりにくくなり、学校から各家庭に連絡を入れることが不可能になると予想されます。保護者の皆様には「南海トラフに関する緊急地震速報（巨大地震警戒 or 巨大地震注意）が発表されたら、学校へ迎えに行く」という行動をとっていただく必要があります。児童生徒の生命安全を守るための対応であることをご理解ください。